「営繕工事における情報共有システム実施要領」の運用について

標記要領の運用については、当面下記によることとする。

1 システム利用者について

情報共有システムで対象とするシステム利用者の構成については、下表を基本とする。

The state of the s	
	利用者
発注者	技佐 又は 技術総括*1
	各グループ補佐※1
	各検査員*1
	監督員**2
工事監理者	管理技術者
	主任担当技術者
	担当技術者
受注者	現場代理人
	監理(主任)技術者
	専門技術者等
施設管理者	施設管理者※3

※1:原則としてワークフローのルートには入らないが、閲覧できる状態とする。

※2:必要に応じて監督員以外の者を追加することができる。

※3:要望に応じてシステム利用者に含めることができるものとする。

2 ワークフローについて

情報共有システムにおけるワークフローについては、次の各号に応じたものを基本とする。

(1) 監理業務を発注していない場合

受注者 発注者

現場代理人 → 監理(主任)技術者 → 監督員

発議者 中間承認者 最終承認者

(2) 監理業務を発注している場合

受 注 者 工 事 監 理 者 発 注 者

現場代理人 → 監理(主任)技術者 → 主任担当技術者 → 管理技術者 → 監督員

発議者 中間承認者 中間承認者 中間承認者 最終承認者